

市長との行政懇談会に市民176人が参加

様々な意見、要望、質問等を踏まえ、仙北市総合計画に活かします！

町村合併により、仙北市が誕生してから約10ヶ月が経過した7月24日から8月9日にかけて、旧町村単位に市内10ヶ所の会場で市長との行政懇談会を開催しました。

市民の皆さんと市長が、まちづくりや地域内の課題、合併後の諸問題等を含め市政全般について意見交換を行い、その結果を今後のまちづくりに反映することを目的に開催したものです。

市民のみなさん176人の参加をいただき、市当局からは、市長をはじめ、助役、教育長、各部長等が出席。様々な質問や要望等にその場でお答えするという座談会形式で行われ、多くの方々と意見交換をすることができました。

各地域ごとに、抱える課題は様々ですが、除雪問題や道路・側溝の整備、農業政策、学校統合、企業誘致や地域の活性化など、生活に密着した意見、要望や報酬の決定経緯などの質問が寄せられました。これらを踏まえ、9月を目途に策定する仙北市総合計画に活かし、より良い仙北市を築いて参ります。



上松木内地区行政懇談会の様子

角館高校の教育実践報告

本校在学の宇佐美靖子さんが1年間のアメリカ留学から帰国して、7月から再び本校の3年生として元気に登校しております。今回はその留学中の体験をご紹介します。

私は一年間アメリカのケンタッキー州に留学してきました。ケンタッキー州はアメリカの中南部にある州で、緑がたくさんあり牧場もあちこちにありました。私が通った高校はDaviness county High School という生徒数がおよそ1600人の大きな学校でした。この学校はオーウェンズボロという大きな市の中にあり、オーウェンズボロは「パイレーツ・オブ・カリビアン」でおなじみのジョニー・デップが生まれたことでも有名です。



留学先の高校のマーチングバンド部でクリスマスパレードにホストシスターと一緒に参加しました。



ホストシスターと一緒に学校のダンスパーティに参加しました。

留学先の高校は、日本とは違い毎日90分4コマの授業です。初めのうちは授業で何を言っているのかが分からず、校内でも友達を作ることが出来ずにいるととてもつらい日々が続きました。しかし、これではいけないと思い、授業が終わった後先生にいつも質問しに行き、自分から心を開き話しかけたりしました。そのかいいがあって半年を過ぎたあたりから友達と気軽に話が出来るようになりました。

私の最初のホストファミリーはホストマザーだけでした。彼女は中学校の先生をしており、料理もとても上手で優しくしてくれました。しかし、一緒に過ごしているうちに色々負担をかけてしまい、私からホストチェンジをお願いしました。2番目のホストファミリーはホストファーザー、マザーと3人のシスターがいました。毎日のようにホストシスターとふざけたり、けんかをしたりしましたが今では良い思い出です。

私がこの一年間をアメリカで最後まで過ごすことが出来たのは日本で支えてくれた家族、学校の先生や友達、アメリカで支えてくれたホスト、学校、友人達のおかげです。沢山の経験が出来たことを感謝しています。今後は、これらの経験を活かして社会に貢献していきたいと思います。



同じ留学プログラムに参加した各国の友人と記念の1枚(左から2番目が宇佐美さん)



授業中に仲良くなった友達と一緒に